

神戸ウォーターフロントエリアの官民連携による活用 ～国内初のみなと緑地PPP～



かつて港湾機能が集中していた神戸のウォーターフロントエリアでは、2021年にポートミュージアムがオープン、GLION ARENA KOBEが4月にオープンするなど、新しい時代にふさわしい形で再生が進んでいます。国内初の「港湾環境整備計画制度（みなと緑地PPP）」の活用など、先進的な取組を行うなかで、どのように官民連携でみなとのにぎわい空間を生み出しているのか。

神戸ウォーターフロントエリアで取組に関わっておられる方々を迎え、プロジェクト紹介と現地視察を行うフィールドワークを開催します。

プログラム

14:30-15:00 受付
15:00-15:05 開会
15:05-16:05 講演

神戸のウォーターフロントエリアについて
(神戸市港湾局)

アリーナ基点での
新たな神戸の魅力づくりについて
(株式会社One Bright KOBE)

エリアマネジメントに関する取組について
(株式会社神戸ウォーターフロント開発機構)

16:05-16:30 質疑・移動

16:30-17:30 現地見学

TOTTEI 周辺

17:30- 閉会・解散

2025

12.22 MON

15:00-17:30 (雨天決行)

会場

株式会社神戸ウォーターフロント開発機構 会議室
神戸市中央区新港町11-1 ジーライオンアワーズビル4階

定員

20名程度 (先着順)

参加料

都市計画学会会員(含賛助会員)、
学生：無料、非会員：500円

申込

Peatixより：
<https://kansaikikaku20251222.peatix.com>

①氏名、②所属、③年齢（現地見学の際の保険加入に必要）

④連絡先（電話、メールアドレス）

⑤会員（会員番号）もしくは非会員の別

⑥講演者への質問事項

上記を入力の上、12月15日（月）までにお申込みください。
※いただいた個人情報は保険申込に使用します。

このフィールドワークは「都市計画CPD」認定プログラムです。
当日連絡先：cmt_plan@cpij-kansai.org
担当：義原



公益社団法人 日本都市計画学会 関西支部
the city planning institute of japan KANSAI